

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	肥満大腸癌患者に対する腹腔鏡下手術の腫瘍学的安全性を評価する後ろ向き試験
	研究目的	大腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績は肥満/非肥満群間で差はないとする報告が多いものの、直腸癌では短期成績に関するデータは一定の見解はなく、長期成績に関してはデータが不十分です。 本研究では、肥満患者さんに対する腹腔鏡下手術の短期（手術時間や合併症など）及び長期（長期予後）成績について、過去に手術が行われた患者さんを対象として、患者さんの過去のカルテ情報を元にデータ収集・解析を行い、肥満患者さんに対する腹腔鏡下手術の安全性について検討します。
	研究対象者	2009年1月～2013年12月に当院で大腸癌の手術を受けられた方
	研究期間	西暦 2018年9月7日～西暦 2019年12月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 部長 塩澤学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	研究代表：NTT 東日本関東病院 外科 中嶋健太郎 研究事務局：大分大学医学部消化器小児外科学講座 猪股雅史 その他 150 施設参加予定（調整中）